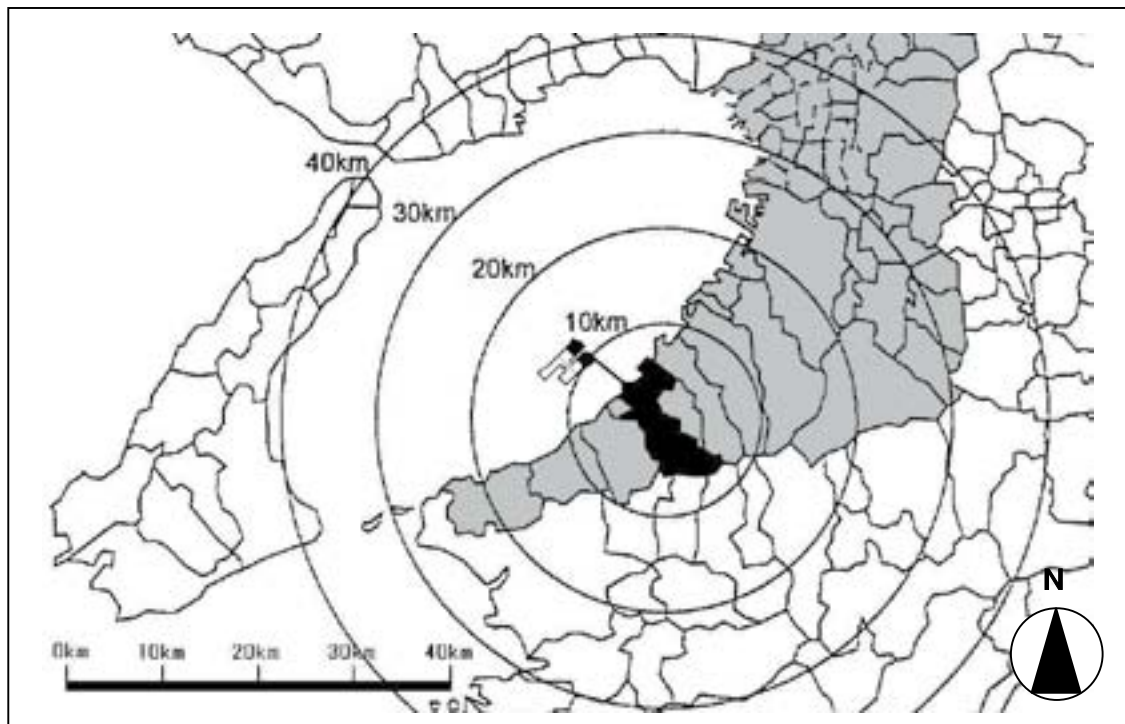


## 第2章 泉佐野市の概況

### (1) 位置及び市の概要

- 大阪府の南部、泉南地域
- 大阪都心から約35km
- 面積：約55.07km<sup>2</sup>（平成19年3月末現在）
- 人口：約102千人（平成19年3月末 住民基本台帳）
- 鉄道は、南海本線、JR阪和線がそれぞれ臨海部、内陸部を南北に貫いているほか、関西国際空港へ乗り入れており、東西にも発達しています。
- 道路は、南北に大阪臨海線、国道26号、府道堺阪南線、主要地方道大阪和泉泉南線が走っているほか、阪神高速湾岸線、阪和自動車道が開通しており、東西には関西空港自動車道、国道481号、同170号及び府道土丸栄線が走っています。
- 近年は住宅都市として人口増加を続けてきましたが、平成6年の関西国際空港の開港を契機にその玄関都市（「世界の迎都」）として発展しています。

### ■ 泉佐野市の位置

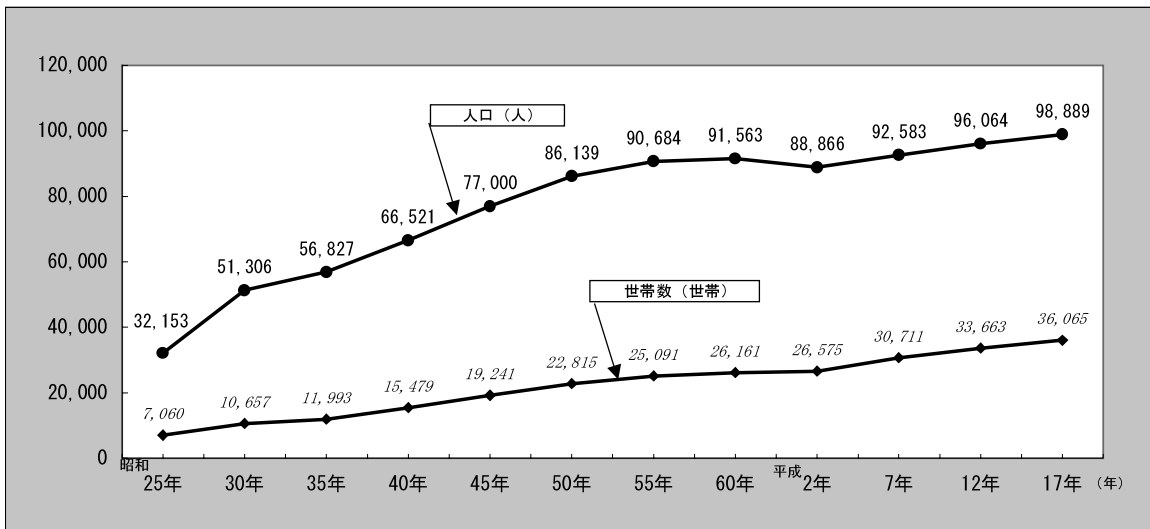


## (2) 人口・世帯数の推移

○本市の戦後からの人口の推移（国勢調査）をみると、昭和 25 年以来増加傾向を示し、昭和 60 年頃にひとつのピークを迎えた後、やや下降気味であったのが、関西国際空港の建設・開港（平成 6 年 9 月）を機に再び増加傾向を示し、平成 17 年現在 98,889 人で昭和 25 年に比べて約 3.1 倍に増加しています。

○世帯数の推移（国勢調査）をみると、平成 17 年現在 36,065 世帯で、昭和 25 年に比べて約 5.1 倍に増加しています。

### ■ 人口・世帯数の推移



資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

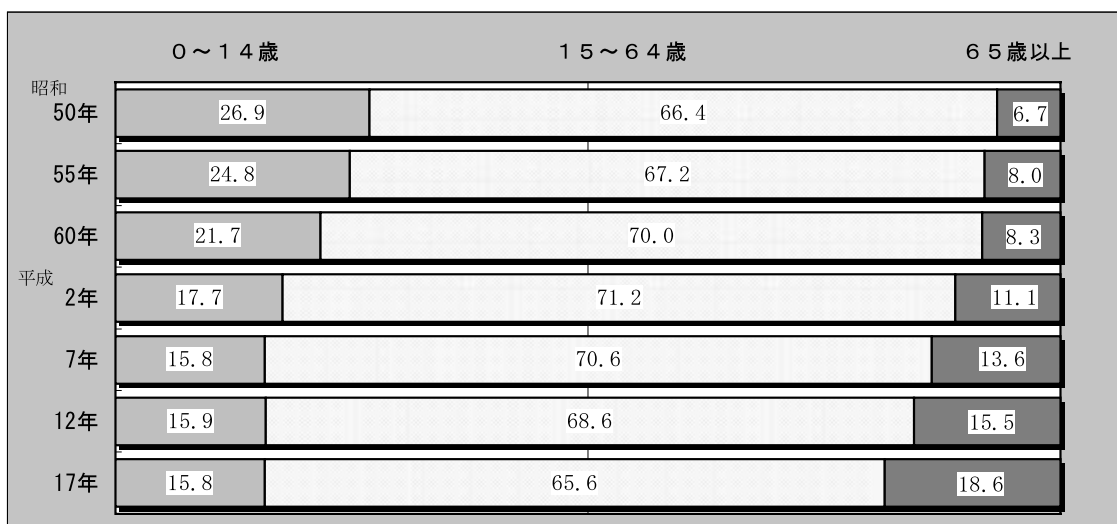
### (3) 年齢階層別人口比率の推移

○平成 17 年の国勢調査によると本市の65歳以上人口は 18,421 人で、総人口に占める割合は 18.6%となっています。これは、昭和50年の 6.7%に比べて大きくなっています。

○平成 19 年3月の住民基本台帳によると、本市の65歳以上人口は更に増え 19,590 人となっています。

○本市の高齢化の進行状況は、大阪府平均 18.5%、全国平均 20.1%（共に平成 17 年 10 月 1 日現在）とおおむね同じながら、高齢者の数、比率ともに確実に増加しています。

#### ■ 年齢階層別人口比率の推移



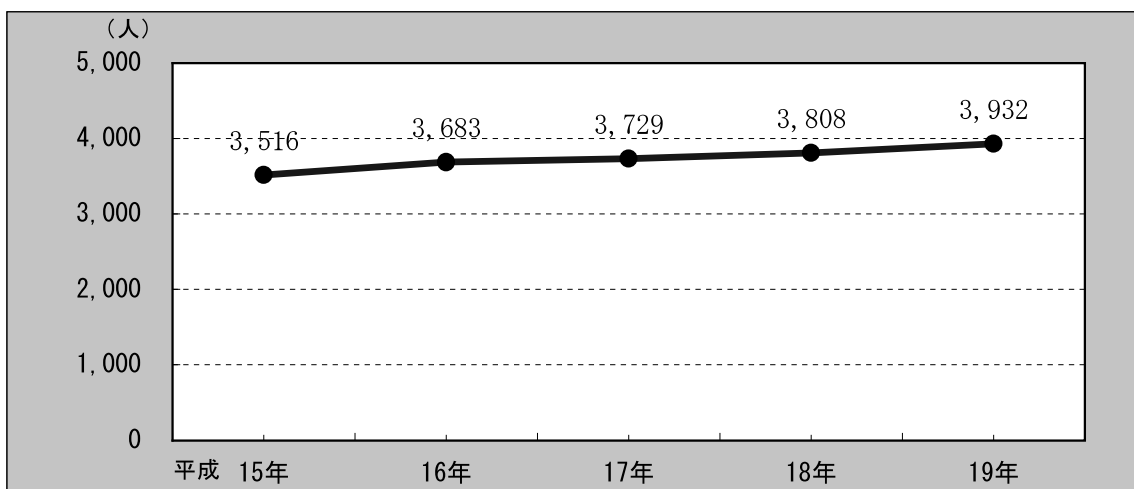
資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

(4) 障害者の状況

1) 身体障害のある人の状況

○平成 19 年 3 月末現在の身体障害者手帳の所持者数は、3,932 人で、総人口 102,224 人(平成 19 年 3 月末現在住民基本台帳人口及び外国人登録人口の計)の 3.8%となっており、平成 15 年以降の身体障害者数の推移をみると増加傾向にあります。

■ 身体障害者手帳所持者数の推移



資料：泉佐野市（各年 3 月末現在）

○障害内訳は、肢体不自由が 59.8%と最も多く、内部障害が 24.0%、聴覚・平衡障害が 8.1%、視覚障害が 6.4%、言語障害が 1.7%となっています。

■ 障害内訳（平成 19 年 3 月末現在）

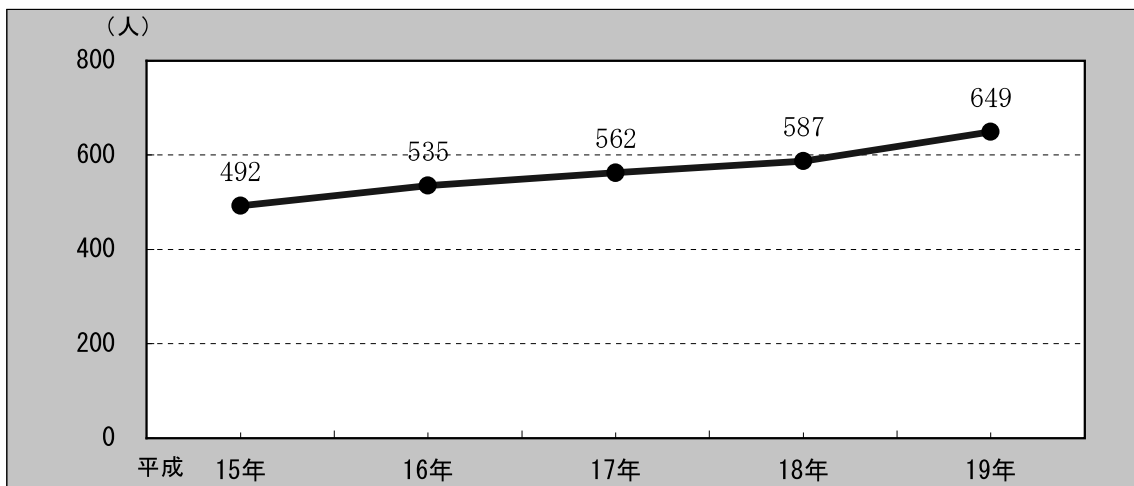
障害の区分	人数 (人)	割合 (%)
視覚障害	253	6.4
聴覚・平衡障害	320	8.1
言語障害	65	1.7
肢体不自由	2,350	59.8
内部障害	944	24.0
合計	3,932	100.0

資料：泉佐野市

## 2) 知的障害のある人の状況

○平成19年3月末現在の療育手帳所持者数は649人となっており、平成15年以降の知的障害者数の推移をみると増加傾向にあります。

### ■ 療育手帳所持者数の推移

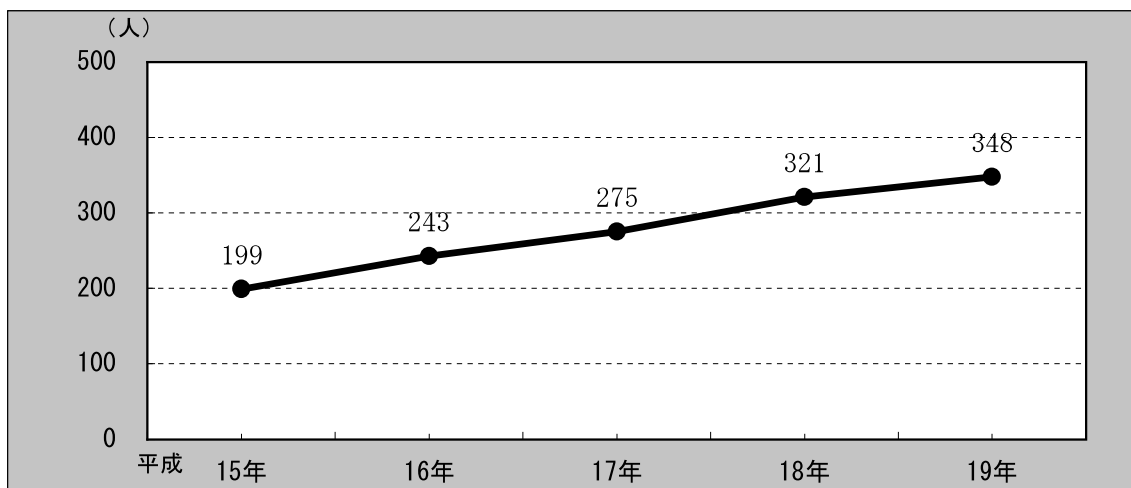


資料：泉佐野市（各年3月末現在）

## 3) 精神障害のある人の状況

○平成19年3月末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数は348人となっており、平成15年度以降の精神障害者数の推移をみると増加傾向にあります。

### ■ 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

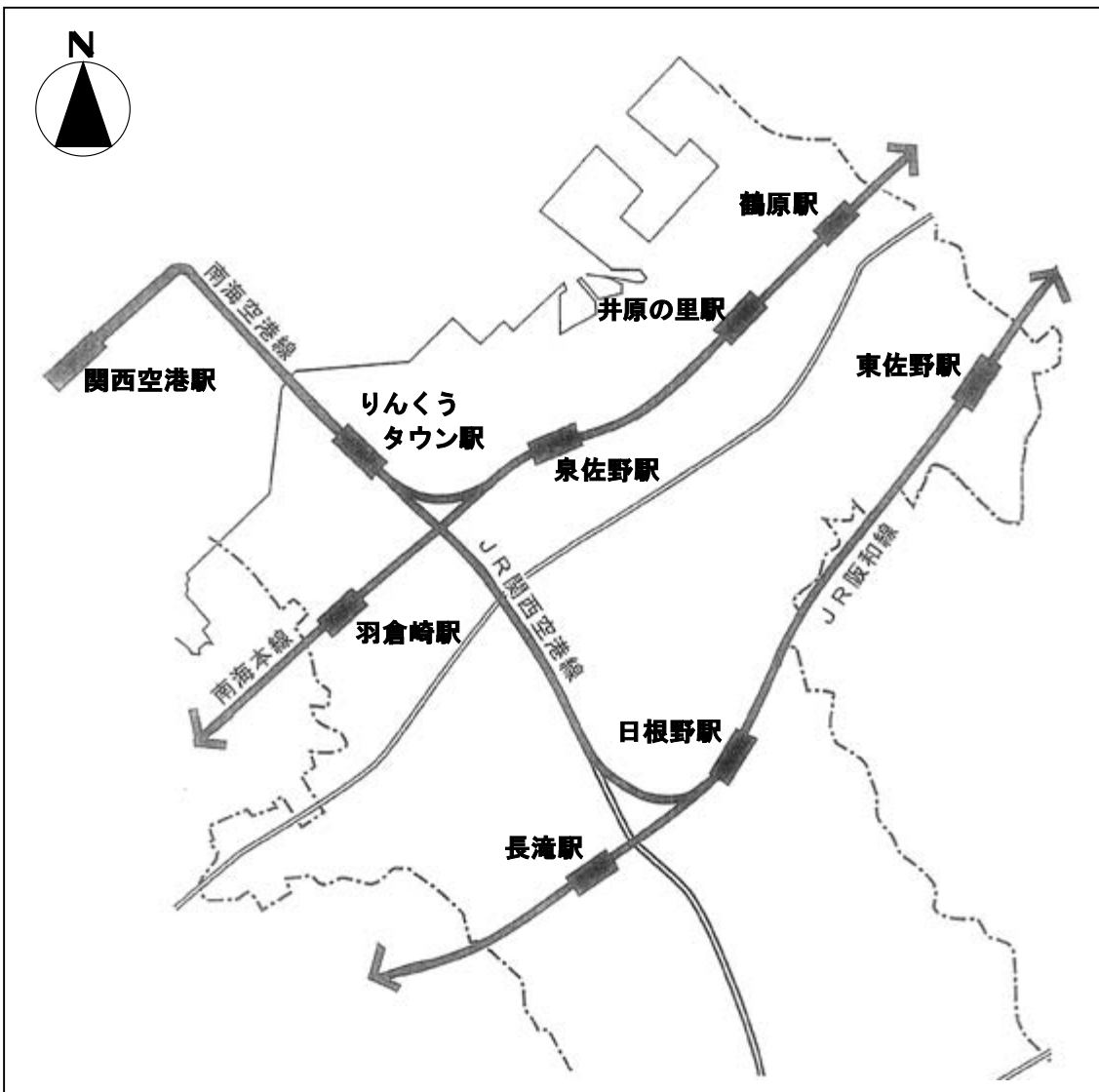


資料：泉佐野市（各年3月末現在）

(5) 鉄道駅の状況

- 泉佐野市の鉄道駅は、従来からのJR阪和線の3駅と南海本線の4駅に加え、関西国際空港開港に伴って関西空港駅及びりんくうタウン駅（両駅ともJR及び南海が乗り入れ）が設けられ、現在では合計9駅あります。（下図参照）

■ 泉佐野市の鉄道駅



(6) 鉄道駅乗降客数

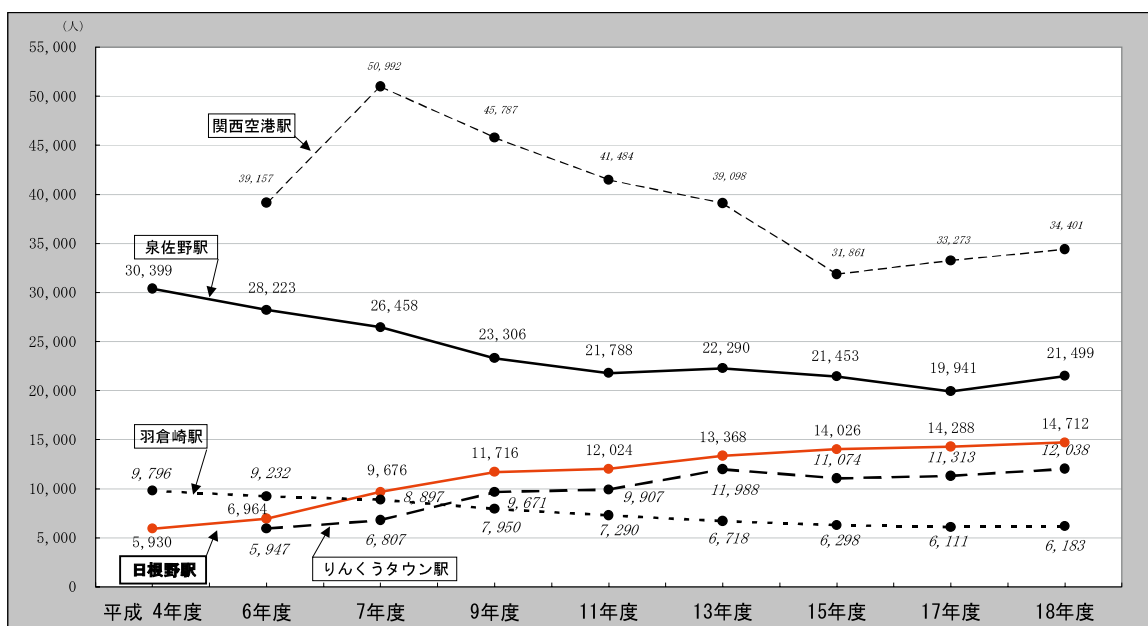
- 泉佐野市内にある鉄道駅9駅の内、1日の平均利用者数（乗降客数の合計）の多い順に5駅を抽出したものは次のとおりです。

■ 1日の平均利用者数（多い順に5駅）（平成18年度現在）

1. 関西空港駅（JR、南海） 2. 泉佐野駅（南海） 3. 日根野駅（JR）  
4. りんくうタウン駅（JR、南海） 5. 羽倉崎駅（南海）

- 5駅の過去15年間の1日の平均利用者数の推移をみたものが下図です。
- JR日根野駅は平成4年度で約5,900人でしたが関西国際空港開港後増加を続け、平成18年度現在では約14,700人と平成4年度の約2.5倍となっています。
- 他の駅の状況を見ると、南海泉佐野駅と南海羽倉崎駅が平成4年度に比べ、平成18年度は約3分の2に減少しています。
- 関西空港線では、関西空港駅が平成7年度の約51,000人（JR、南海の合計）をピークに減少を続けていましたが、ここ数年は僅かながら増加傾向に転じています。
- りんくうタウン駅は平成6年度の約5,900人（JR、南海の合計）から増加傾向にあり、平成18年度は約2.0倍になっています。

■ 泉佐野市内の鉄道駅1日の平均利用者数の推移（1日の平均利用者数上位5駅）



(注) りんくうタウン駅、関西空港駅はJR及び南海電鉄の合計値である